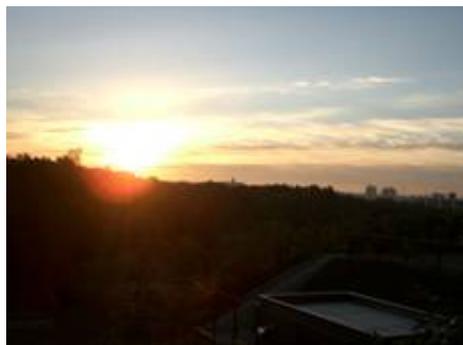


「職員参集訓練」～100分の「痛勤」

名古屋市では東海地震と思われる市域における最大震度6弱の地震が発生し、市内の交通機関が途絶したと想定して、職員を対象に訓練を実施した。自宅から2時間以上かかる場合は「免除」されるが、90分と「申告」してしまったので、16日に訓練を敢行した。地図で最短距離で行けるルートを確認して、自宅を6時25分に発った。「証拠」を残すために、途中のポイントを写真に撮ることにした。最初は順調に足が進み、東山遊歩道のあたりで、近道をしようとして急遽ルートを変更したが、道に迷う羽目となった。植田山あたりをうろつき、だいぶ時間をロスした。焦ったので余計に疲れた。「急がば回れ」のとおりだ。中京テレビの塔が見えて、ほっとしたものである。杖中で小休止して、あとは南山学園あたりを通過して桜山に向かった。南山から石川橋にかけては、閑静な住宅街がつづいていた。市大病院が遠くに見えた頃には、「調子」が出てきた。



結局、大学に着いたのは8時5分であり、100分の行程であった。途中のロスがなければ、「申告」した90分近くであり、時間的には満足いくものであった。でも久しぶりに長い距離を歩いたので、すこし足が痛くなった。まさに「痛勤」である。

実際に大規模地震が起こったときに、このルートで、100分でたどり着けるか自信がない。とくに東山の急傾斜地あたりは、地震によって通れなくなるのではないかと。また日ごろの運動不足を解消するために、別の安全なルートを開拓してみよう。



(11月23日 記)